

小論文問題用紙

試験開始の合図があるまでは、小論文問題用紙・解答用紙に手を触れないようにして下さい。

【受験についての諸注意】

- (1) 解答は、小論文解答用紙に720字～800字で書いて下さい。
- (2) 小論文解答用紙は、縦にして使用して下さい。
- (3) 解答は、横書きとして下さい。
- (4) 試験開始・終了の合図は監督者が行います。
- (5) 試験開始の合図があったら、最初に受験番号を書き、提出の際にも再度確認をして下さい。なお、氏名を書く必要はありません。
- (6) 試験時間中の途中退会は、試験開始30分以後とします。また、試験終了5分前からは退出できません。
- (7) 試験終了の合図があったら、小論文解答用紙を提出して下さい。また、小論文問題用紙も、回収させていただきます。

「小論文」課題

栃木県の塩谷町に、寺や神社の建築を専門にする「鵜(いかるが) 工舎」という会社があります。その創業者である小川三夫氏が若い頃、法隆寺の宮大工として知られた西岡常一氏(文化功勞者)に弟子入り志願の手紙を書いたところ、その返事に次のような言葉が書かれていたとのことでした。

「つまらない仕事の積重ねの後にこそ自分自身の心の通う作が
生れます」

「単なる形だけにとらわれた作品は本当のものではありません」

(以上、『朝日新聞』2016年6月4日付朝刊に基づく)

この西岡氏の言葉を読んで、あなたの感想を720字～800字で書いてください。